

# 「花祭り」

「花祭り」は、お釈迦様の誕生をお祝いする行事です。お寺が関わっている保育園、幼稚園では、よく行われています。本当は、西暦紀元前463年4月8日（今から約2500年前）がお釈迦様の誕生日と言われているのですが、4月8日に行事を行うことは不可能です。保育園に通ったことがある方なら、説明は要らないと思いますが、ですから、4月の終わりから5月の初めの間で、適当な日を選んで行っています。

お釈迦様は、生まれてすぐに7歩あるき、右手を上左手を下にして、「天上天下唯我独尊（てんじょうてんがゆいがどくそん）」とおっしゃったと言われています。「天上天下唯我独尊」の意味は、「この世の中に私という人間は私しかない、だから私は尊い」というものです。「私は偉い」、「私は優れている」という比較の意味ではなく、「私の存在そのものが尊い」という絶対的な意味です。

そして、花祭りには甘茶を飲みます。飲んだことがある方はよくご存知でしょうが、甘茶は不思議な味がします。お茶の葉を煮出しただけなのですが、とても甘い味がします。まったく砂糖は入っていないにも関わらず。ある意味で、究極のダイエット甘味飲料です。

その甘茶をお釈迦様にかけて、手を合わせてお祝いするのが「花祭り」という行事です。甘茶飴と冠をお渡しします。ご家庭でお祝いいただけると幸いです。

## なぜ、お釈迦様に甘茶をかけてお祝いするのか？

「インドは暑い」

⇒「暑いところでは水は尊い」

⇒「だから、お釈迦様に尊い水をかけてお祝いする」

という流れになっています。

水が豊富な日本人には、少し分かりにくい理屈です。

また仏教では、「お浄土では甘露の雨がいつも降っている」と言われています。

この2つの理由から、お釈迦様に甘茶をかけてお祝いします。

